

# 決算

一般会計から見る町の財政状況

わたしたちの生活に密接にかかわっている一般会計の決算状況を見てみましょう。

歳入は約75億2千万円

歳入は、皆さんが支払う町税、町が事業をするために借り入れる町債、地方交付税、国庫支出金や県支出金などが主なものです。

21年度の歳入総額は、75億2千586万7千円で、前年度より6億7千775万円減少しました。減少の主な理由は、税収の減少や町体験交流館の建設が終了したことなどです。

歳入全体に占める町税、負担金や使用料などの自主財源（町が独自に調達できる財源）の割合は、35・0％で、昨年より1・3ポイント

減少しています。町税は、長引く不況の影響で、個人や企業の所得が低迷し、町税全体で4・1％、金額にして8千553万7千円の減収となりました。

歳出は約72億7千万円

一方、歳出のほうを見てみましょう。21年度の歳出総額は、72億6千987万4千円で、前年度より6億8千672万3千円減少しました。歳出の主な事業は、定額給付金事業や地域活性化臨時交付金事業などで、防災行政無線の親局更新、消防ポンプ車の購入や林道の整備などを実施しました。

ここ数年、本町では、一般財源の不足分を、財政調整基金からの繰り入れに頼っていました。しかし、21年度は繰り入れをせず、財政調整基金に約7千万円の積み立てをすることができました。

このほど町の21年度の決算がまとまり、9月に開かれた、町定例議会で認定されました。決算は、皆さんが納めた税など、町の収入を、どのように使ったかを明らかにし、説明するものです。決算から見る町の財政状況を説明します。

平成21年度歳入歳出決算額および対前年度比較表

単位：千円

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	歳入		歳出		20年度	
				20年度との比較	増減率	20年度との比較	増減率	歳入	歳出
一般会計	7,525,867	7,269,874	255,993	△677,750	△8.26%	△686,723	△8.63%	8,203,617	7,956,597
特別会計	34,941	34,505	436	17,681	102.44%	17,465	102.49%	17,260	17,040
特種会計	6,398	5,653	745	4,030	170.19%	3,387	149.47%	2,368	2,266
猪苗代地区財産区	10,897	10,776	121	△1,361	△11.10%	△1,346	△11.10%	12,258	12,122
翁島地区財産区	31,493	31,168	325	20,950	198.71%	20,913	203.93%	10,543	10,255
長瀬地区財産区	1,747,388	1,716,522	30,866	△60,308	△3.34%	△57,380	△3.23%	1,807,696	1,773,902
吾妻地区財産区	13,822	13,696	126	△292,422	△95.49%	△278,995	△95.32%	306,244	292,691
国民健康保険	144,821	143,622	1,199	69,552	92.40%	71,951	100.39%	75,269	71,671
老人保健	692,480	673,134	19,346	△165,292	△19.27%	△168,172	△19.99%	857,772	841,306
簡易水道事業	163,055	158,668	4,387	6,582	4.21%	8,201	5.45%	156,473	150,467
特定環境保全下水道事業	267,301	261,760	5,541	90,314	51.03%	89,197	51.69%	176,987	172,563
農業集落排水事業	1,221,314	1,213,339	7,975	79,032	6.92%	84,343	7.47%	1,142,282	1,128,996
介護保険	153,581	153,398	183	346	0.23%	543	0.36%	153,235	152,855
後期高齢者医療	4,487,491	4,416,241	71,250	△230,896	△4.89%	△209,893	△4.54%	4,718,387	4,626,134
特別会計計	12,013,358	11,686,115	327,243	△908,646	△7.03%	△896,616	△7.13%	12,922,004	12,582,731
一般会計+特別会計合計									

水道事業会計決算 ( )内は前年度比増減率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収入	301,652 (101.4%)	収入	9,957 (△94.5%)
支出	263,291 (△5.6%)	支出	133,855 (△60.1%)

\*資本的収支の不足額1億2,389万8千円は、内部留保資金、建設改良積立金などから補てんしました。

病院事業会計決算 ( )内は前年度比増減率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収入	68,894 (163.4%)	収入	1,365,040 (124.2%)
支出	68,954 (166.7%)	支出	1,365,040 (124.4%)

## 町税の負担

町民の皆さんが21年度に負担した町税は、年間平均で1人当たり113,986円1世帯当たり351,019円となりました(国民健康保険税を除く)。

## 1人当たり町税負担の内訳

町民税	35,777円
固定資産税	66,829円
軽自動車税	2,026円
町たばこ税	7,141円
入湯税	2,213円
国民健康保険税	92,338円

※町民税負担の内訳は、22年3月31日現在の住民基本台帳人口16,272人、世帯数5,284世帯、国民健康保険税は4,653人で計算しています。

実質公債費比率は、町税や地方交付税などの歳入のうち、何%が借金の返済に使われているかを示すもので、過去3年間の平均値で示されます。町の実質公債費比率は、17・7%で、昨年より0・6%

実質公債費比率は17・7%

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)に設けられた、4つの指標の状況を見てみましょう。本町の場合、実質赤字比率と凍結実質赤字比率は、赤字ではないので、該当がありません。

## 町財政指標から見る町の財政状況

減少しました。21年度に町が借金の返済に充てた公債費は、11億5千511万3千円。本年度末で、町の借金の残高を5億6千906万6千円減らしました。

将来負担比率は140・9%

将来負担比率は、一般会計における標準的な年間収入の何年分の借金があるかを表す比率です。町の将来負担比率は、140・9%で、昨年より9・9%減少しています。

町では、財政健全化計画などを策定し、今後も経費の削減に努め、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

国勢調査へのご協力ありがとうございました。また、国勢調査の回答はお済みでしょうか

回答が済んでいない人は、調査票への記入、提出をお願いします。



☎(62)2112 FAX(62)5175

- 国勢調査は、22年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です。
- 記入していただいた調査票は、封筒に入れて封をして調査員に渡していただくか、郵送提出用封筒に入れ、町に郵送で提出してください。
- ※回答が済んでいない場合や調査票が届いていない場合は、町役場企画財務課に連絡してください。

## 一般会計内訳

